

平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	水源地域対策基本問題調査費		担当部局庁	水管理・国土保全局 水資源部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成4年度～		担当課室	水資源政策課		課長 山本 健一		
会計区分	一般会計		施策名	6 水資源の確保、水源地域の活性化等を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	水源地域対策特別措置法対象ダムを中心とした水源地域における生活再建や活性化等について国が実施すべき基本的な問題に対するの対策を立案する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成22年度においては、全国の水源地域の維持や地域活性化等を目的として、水資源部と関連業界が共同で実施している「水の里応援プロジェクト」のうち、水源地域の特産品の食品流通業界へのプロモーション活動や、着地型旅行商品のプロモーション方策の検討、ホームページ等のPR媒体の製作等を実施した。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	10	9	9	5	5	
	執行額	9	7	6				
	執行率(%)	93%	80%	76%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	【水源地域整備計画の完了割合】 政策目標として設定した平成18年度時点での水源地域整備計画策定ダム(89)を分母とし、そのうち整備計画が完了ダム数を分子としてH23年度の完了割合を70%と設定。		成果実績	ダム	56	57	60	63
			達成度	%	63	64	67	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	H22年度より水の里応援プロジェクトとして実施 ・観光プロモーション(水の里の旅コンテスト応募数) ・特産品プロモーション		活動実績 (当初見込み)	件	-	-	59	60
			地域		-	-	30	25
単位当たりコスト	・観光プロモーション:15,000(円/地域) ・特産品プロモーション:66,000(円/地域)		算出根拠	・観光プロモーション:882,000円/59地域 ・特産品プロモーション:1,979,000円/30地域				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.216	0.081	委員の人員見直しによる減額				
	職員旅費	0.215	0.191	調査箇所の見直しによる増額				
	委員等旅費	0.538	0.191	委員の人員見直しによる減額				
	水資源対策調査費	4.564	4.572	調査・検討にかかる人件費の増額				
	計	5.533	5.035					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本業務は、水源地域の活性化に資するため「水の里応援プロジェクト」として、「水の里」の特産品や観光資源のプロモーション活動を実施したものである。 特産品のプロモーションを行う上で、現地スタッフの活用により職員旅費等を節約しコスト削減を図った。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 平成22年度の業務発注については、より競争性・透明性を高めた契約手続に変更を行った。(企画競争方式→総合評価落札方式) また、水の里の旅コンテストの表彰式を観光庁が後援する旅フェア(日本観光博覧祭)にて行うなど連携を図ったところである。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		引き続き効率的な事業実施を図るとともに、他の地域振興策との連携も進めて、業務の成果が水源地域の活性化に資するようにする。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
効率的な事業が図られるように調査内容を新たに精査し、より一層の地域活性化を図る。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

国土交通省
6百万円

職員旅費、諸謝金、
委員等旅費
0.4百万円

業務の発注及び監督

【公募(企画競争)】

A. 中央開発(株)
6百万円

全国の水源地域(水の里)の維持や地域活性化を推進していくため、「水の里応援プロジェクト」として、「水の里」の特産品や観光資源のプロモーション活動を実行した。「水の里」の特産品については、流通事業者と連携して全国のバイヤー等を対象にした物産展を開催した。また、観光については、着地型旅行企画を対象とした「水のめぐみ」とふれあう水の里の旅コンテストを主催するとともに、受賞企画等のプロモーション支援活動を観光業界の協力により実施した。

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.中央開発(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外部委託	調査・検討等	6			
計		6	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	中央開発(株)	水源地域における活性化について具体的な仕組みや取組の検討	6	3	89.20%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					